

市民文庫マスター

取り組みの概要

地域に市民文庫を開設し、ボランティアで読書活動の推進を担っている「市民文庫マスター」の自宅等に本を配本し、図書館から距離的に遠い地域の市民に対し、身近な場所で本の貸出を行っています。

協働の きっかけ

「一人でも多くの人に一冊でも多くの図書を」を基本方針に、図書館から地域に開設した市民文庫マスターの自宅等に本を配本し、マスターから市民に貸出することにより、市民の利便性を図り読書の普及を図ることを目的に始めました。

図書館

・多種多様な本が準備できる

・市民文庫マスターへの配本、回収
(毎月)



市民文庫マスター

・地域の事情に詳しい
・利用者ニーズに対応し易い

・地域での利用者への本の貸出し、返却業務の実施

強み

役割

協働の 成果

図書館活動に理解のある市民文庫マスターが地域において事業を展開し、長年にわたり市民への読書活動の推進に重要な役割を担ってきましたが、近年では利用者の減少や市民文庫マスターの高齢化等により、平成29年度で個人の市民文庫マスターは終了し、団体1件が活動を行っています。

協働のポイント

移動図書館等、地域サービス全体で取り組んでいく必要があります。

市
(図書館)

市民文庫
マスター

利用者

【役割】

<市>

- ・市民文庫マスターへの本の配本、回収 (毎月)
- ・各事業の日程調整、助言等
- ・関係機関への周知、連絡、調整

【役割】

<市民文庫マスター>

- ・利用者への本の貸出、返却業務の実施